

# 平成14年度第1回 全学FD アンケートのまとめ

回収：151名分（回収率：91.0%）  
（参加者166名：総長等を除く）

## 1. 問題提起は的確でしたか？

- |                                    |             |
|------------------------------------|-------------|
| <input type="checkbox"/> 的確だった     | 76名 (50.3%) |
| <input type="checkbox"/> どちらとも言えない | 59名 (39.1%) |
| <input type="checkbox"/> 的確でなかった   | 14名 (9.3%)  |
| ※複数回答（的確だった・どちらとも言えない）             | 2名 (1.3%)   |

## 2. 参加なさった分科会の内容は意義のあるものでしたか？

- |                                    |              |
|------------------------------------|--------------|
| <input type="checkbox"/> 意義があった    | 102名 (67.6%) |
| <input type="checkbox"/> どちらとも言えない | 39名 (25.8%)  |
| <input type="checkbox"/> 意義がなかった   | 10名 (6.6%)   |

## 3. 分科会の討論には積極的に参加できましたか？

- |                                       |             |
|---------------------------------------|-------------|
| <input type="checkbox"/> 積極的に参加できた    | 69名 (45.7%) |
| <input type="checkbox"/> どちらとも言えない    | 56名 (37.1%) |
| <input type="checkbox"/> 積極的に参加できなかった | 26名 (17.2%) |

## 4. 全体討論は、基礎科学科目教育の改善のための課題の整理に役立ちましたか？

- |                                    |             |
|------------------------------------|-------------|
| <input type="checkbox"/> 役立った      | 71名 (47.0%) |
| <input type="checkbox"/> どちらとも言えない | 52名 (34.4%) |
| <input type="checkbox"/> 役立たなかった   | 21名 (13.9%) |
| 未回答（空白）                            | 6名 (4.0%)   |
| ※複数回答（どちらとも言えない・役立たなかった）           | 1名 (0.7%)   |

## 5. 基礎科学科目教育の改善のために、特に重要と思われる点を2つだけ箇条書きにしてください。

科目内容の整理（例えば分科会物理学Bの電磁気） / 入試科目（高校で受ける授業科目）と大学で必要とする科目の一致 / 科目ごとの統一テスト問題の作成と成績評価（厳しく評価する） / 基礎科学科目を2分して、教ヨウと専門のキノに分ける / 専門分野教官による基礎科学科目の内容評価、情報公開 / 各科目の到達目標を明確に（教員・学生）する / 関連科目との連絡 / 基礎科学科目は、各分野の専門家による最初で最後の教育の機会である。各分野の特徴・考え方を重視した教育であるべき / 各科目の目標を学生にはっきりと提示し、学生の動機づけをうながす / 科目間の連携をとる / 全学部全学科の教官が基礎科学科目を担当して現実を知った方がよい / 基礎科学科目は理系の基礎共通科目であるとの共通認識をもつこと / 部会の間にある科目の開発、特に物理と数学の間の科目が必要 / 科目間の内容と進路の検討 / 科目毎に教科書、テストを統一する / 基礎科目と専門科目とのつながりに関して議論すること / 科目の目標、意義の明示 / 専攻教育の準備と考える（基礎科学科目） / 専門科目の準備？ / 多科目間の情報交換 / 内容の統一化（同一科目における） / 同一科目を複数の教官が教える場合は、各教官でミーティングを行い、テキスト等の統一を図ること / 基礎科学科目は教養科目として位置づけるべきである / 基礎科学科目の教科書を決め（数種類程度にしぼり）、シラバスに明記する / 科目の意義 / 科目担当者と専門学科の意見

・情報交換 / カリキュラム編成。基礎科学科目の選択。必修と選択の割り振り / 教養としての基礎科学であるべきか？それとも専門科目の基礎科学であるべきか？ / 同じ科目の中で到達度の基準を作って、講義・成績評価を行う必要がある / 必修科目に指定する理由とその内容を受けての学部側がよく検討し理解すること / 専攻科目との連続性（時期的・内容的に） / その科目を学ぶことの意義、専攻との関連をオリエンテーションすべきー入学時の各学科オリエンテーションでやるのがよい / 科目間の関係（例えば、物理学などの理解に必要な数学）などを学生にうまく伝えること / 基礎と専門科目との引き継ぎの工夫をする組織をつくる / クラス規模の適正化（理科科目100名標準は大きすぎるように思います。） / 必須科目を増し、集中した勉学カリキュラムの作成が重要である / 科目内容の標準化（同一科目名のものについて） / 基礎科学科目担当の教官と専門部門教官のコミュニケーションを密にする / 学生に数学科目ごとに十分なHomeworkをやらせること←→理解に役立つから / 専門科目との連携 / 少人数でも基礎科学科目の充実 / シラバスの項目をもっと細分化して、どの内容、どのレベルまで教えるか検討が必要。 / シラバスを充実させること / 教師間で教える内容の違いをさけるために、シラバスを充実させる。 / シラバスの内容を再検討し、実現するために必要であれば統一された教科書も作成する / シラバスだけでは不十分なため、講義ノートの公開が重要である / シラバスを充実させ、学生の到達基準を明示する / シラバスに書かれている授業項目は、必ず講義で実施してほしい / シラバスの充実（もっと学生側に立ったシラバスを作るべき教官側の理屈ではダメ） / 担当教官にシラバスを守らせる。勝手な講義をさせない / シラバス内容の整理 / シラバスの充実 / 統一したシラバスとレベルの統一化が必要であるか？ / シラバスの内容をできるかぎり忠実に行う / シラバスに到達目標を明確に書く / 担当教官間の講義内容の統一、シラバスの整理 / 少人数クラス / 学生の知識に合わせたクラス編成やカリキュラム作り / 同一内容クラスの同一の評価系 / 専門分野との交流、クラス交流システム / 成績別クラス編成 / 受講クラスに適した授業を行う事 / 学生数を減らす（1クラスの受講生） / 成績の基準を揃え、クラス差があまり大きくならないようにする / 学生の理解度の質的計量 / 学生の勉学意欲の創出 / 学生の勉強へのモチベーションを高める教材づくり / 学生の意識改革 / 学生によるFDへの参加 / 学生の理解度を高める授業をする / （特に九大の）学生の意識学力レベルには大きな幅がある。平均的な学生にどれだけの内容を理解させるかのみならず、それぞれのレベルの学生各々に対して意義ある教育を考える必要がある（うまい解決案がある訳ではない） / 高校で生物をとってない学生を対象にした講義などの対策が必要だと思います / 学問を進めるための基盤あるいは大学生としての教養 / 学生の理解にそって、理解度を確かめながら授業を進める / 学部の学生実験のTAを移管 / これにより宿題をふやす / 学生の理解度のチェック法の構築 / 成績評価基準を明確にし、また統一し、学生が不信感、不安を持たないように努力する / 到達基準の設定（勉強させるようにし向ける） / 学生の勉強意欲を引き出す方法 / 教官の意識の向上（学生にわからせようとする意識） / 到達度を具体的に明示し、これを講義の開始時に学生に周知させる / 学生の現在の学力を的確に把握すること / 学生の動機付けと教育内容の選別 / 学生の理解度を確認する / 学生とのコンタクトを増やすために、少人数化あるいはTAの配置 / 学生の授業参加への努力 / 学生の理解度をcheckしながら授業をすること / 初期に学生のモチベーションを高める内容にすべきである / 宿題、演習等を行い、学生に理解向上につなげること / 各学科における学生の学習（到達）目標の明確化 / 予習・復習など学生の努力をうながす必要がある / 教育目標を学生に提示し、到達できない学生には何らかの不利益を発生する仕組 / 学生がどのように思っているかを基本とする / 学生のレベルの変化（高校教育とのギャップ） / 学生の理解度のチェックとそれに応じた進度 / 学生を甘やかさない事 / 担当者と学生の所属する学科の教官が一度でもいいので話をする / 要求にいる到達度を明確に学生に示し、教師が常に学生とそれを共有すること / 学生に勉学の意欲をどう創るか今後の課題である / 学生の意欲を引き出すこと / 学生の2/3は単位をとることのみに集中していることを認識する必要がある / 教官側と学生側の問題点を明確に

して討論を進める / 学生が気軽に質問できる体制の確立が必要 (OFFICE hourの義務化) / 学生の勉強意欲を高めるために, “競争制度” 導入すること。優秀な学生に“学費免除”のようなごほうびを! 対して全然勉強しない学生に“退学勧告”を! のようなシステムがあつてよいでしょう / 学生の勉強意欲を高める工夫をすること / 学生の学力データの収集, 分析 / 学生が授業がわからないということに対する検討をして欲しい / ある学科で物理が必要なら, 入試において, 物理を受験させる等, 入試の役割 (選抜) を十分考える / 同じ講義担当者が話し合うこと / 各学部から人的支援が必要 / 物理の分科会に参加したが, 物理よりも, 道具としての数学が重要と思う / 当学科では本学の教官が微分方程式とベクトル解析を教えているが時間的に十分でない。改善が必要と思う。◎全学教育として数学の補強が必要です / 何をどこまで習得させるかの明確化 / 教官の意識改革 / 学期末試験の評価法公開 / 基礎的な事柄をキチンと理解させる / 企画部会, 実施部会の活動 / 提案の具体化 / 責任をもつ小さい教師団の組織化 / 相方向的な授業になるような工夫 (少人数化, etc) / 当面は個人の努力によるしかないだろう。例へば教官相互の授業参観など / 明確な目標, 具体的なイメージをもたせた授業内容にして下さい / 理解度をチェック (各テーマごと) するシステムを作った上での授業をお願いしたい / 双方向的授業 / 抜本的制度改革 (しかしこれは現実的でない。当面は手をつけられないだろう。) / 出席できる環境をつくること / 着実な理解をたしかめる工夫をすること / 同一名課目の標準化: 内容及び試験を含む評価 / 演習時間の確保 / 講義内容の公開 / 講師間の情報交換 / 理想のカリキュラムを実現するにはPlan-Do-Seeのサイクルを早く廻すこと / 六本松と箱崎教官の直接のコミュニケーションを可能とする / 教育目標 (達成レベル) の具体的設定すること / 教育目標のクリアを厳格に実施すること / 全学教育の担当者と各学部の担当者の接触を密にする / 講義の所属学生の教官との前もつての章立の打合せが必要か? / 基礎科学科目の担当者と受け入れ学科の責任者との打ち合わせの機会を作る / どうすればよくなるかだれにも分らないのではないのでしょうか / 実施部会等での活動が重要 / 高等学校での未・既修者の区分 (生物) / 全キャンパスを徒歩10~20分程度の圏内に集約する / 問題を ①教官個々のものと ②組織のもの とに分けること / それぞれについてできることを即実行すること / 全学教育担当教官のスタンスをはっきりさせる / 数学, 物理, 優れた教科書を選定し, 共通に使用する / 数学と物理は相互に教える内容, 時期を調整する / 演習のやり方 / 講義担当者への学部の要望を伝えるシステムの構築 / 講義内容の検討としぼりこみを行う (部会の役割の強化) / 「専門の準備」は学部でできるものは学部でやるべきだと思います / 演習の時間を増やすこと (特に数学) / もう少し問題の全体像を明らかにすることが大事だと思います / 教官による評価の差の是正と到達度の確認 / 教育内容と評価基準の整合性 / この全学FDで出された意見が反映されるかどうか? / 九大オリジナルの教科書? / 動機付け / TAの活用 / 少人数教育 / 知識の展示, 伝達のみでは生物の面白さは伝わらない。教官の数を減らし, それらの教官のdutyを減らす / 未履修者と既修者を分けてとり扱う必要があろう (生物) / 内容を減らす / 成績評価を到達度などを考慮する / 専門との関連を明らかにした講義が必要 / 教室間の成績評価の偏差の是正の必要性 / 各学科との情報交換 / 成績評価が教官によって異なる点 / 成績評価のあまりにも大きなへだたりのかいしょう / これまでどうだった / すでに議論して改善できない という話がでるがそれを乗り越えてもう一度改善しようという姿勢が必要だと思う / 教える内容を統一する / 学問を進めるに当たっての基盤 / 評価を甘くしない / 予習復習を促す工夫 / 教科書を作る / 組織として教育に取り組むこと / 教育目的を明確に, できれば統一すること / 教育手法 / テキストの選定 / 専門学部と全学教育との連携 / 教官間の講義内容の統一化をはかって欲しい / 勉強の意義を分かりやすく示す努力が必要 / 熱力学の様な古典物理学に対する要望が以外と多いこと / 数学と物理学の講義をどの様に体系的に教授するか / 理解度の評価法の確立 / 予習・復習を自覚させる / Home page / 詳しい教科書の使 / Home pageの活用 / ビデオプロジェクター等視聴覚教材の充実 / TAの充実 / 全学教育と専門教育のつながり / 全学教育の目的・目標の合意 / 成績評価

の基準を公開する。試験問題を公開する / 教官相互のcheck / 教える側と教わる側の意志の共通認識 / 到達目標を明確にする / 各教官が責任をもって教育に携わる環境の整備（理想論では無理） / 成績の公表 / 教える側・学ぶ側の意識改革 / 動機づけの講義 / 実験、演習をさせる / 物理関連の講義と数学関連の講義は時期・内容を含めて連ケイして進める必要がある / 複数教官による試験問題作成とレベル設定 / 成績評価の公平性（統一試験の導入） / 教え方の問題 / 情勢 / 数一物一化一生の関連、連絡が重要 / 専攻教育とのすり合せがもっと必要と考える。（学部教官の積極的な寄与が必要） / 教育支援体制を充実させる（TA、事務などの増員） / 入学時の基礎学力を測る客観データを定期的に収集すること / 個人的努力に頼るのではなく、担当部局全体での組織的取り組みが必要 / 箇条書きで指摘できるほど簡単ではない / 教育内容をある程度統一する / 時間数を十分とる / 内容の厳選（従来の教養部時代の内容をひきずっていると思います。授業時間等の条件が大きく変わっているにも関わらず） / 実施体制の明確化、責任の明確化 / 目標意識を持たせる必要がある / 講義内容の均一化（出来る範囲内で） / 教官相互のピア・レビュー / 教官間のコミュニケーション / 学部によって問題点の認識が違うので、アンケート調査などをする必要がある / できるだけ具体的な事例の演習を並行しておこなう / 今回のFDなどの場に出た意見が反映されるような体制を整える / TAの活用をより積極的にする（複数指導制）⇒本来はTAより先に助手を活用すべきである。なぜ正規教職員である助手ではなく、アルバイトであるTAが講義をアシストしているのか？九大の「おきて」なのか？第三者（外部）には説明不能な状況だと思ふ / 教官の流動性による活性化 / トップダウン方式による徹底指導 / 高校に必要学力のレベルを示す（要求する） / 大学で補習をしても意味ない（時期を失している） / 平均10%の不合格者。次の開講者への御土産？（100人→150～200人）これでいいのか？ / 学生の理解度を高める授業をする / 各学部からの若干の接合橋渡しの協力が必要。

#### 6. 今回のFD企画全体を通して評価してください。

<input type="checkbox"/> たいへん満足している	4名 (2.7%)
<input type="checkbox"/> 満足している	78名 (51.7%)
<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	35名 (23.2%)
<input type="checkbox"/> 満足していない	24名 (15.9%)
<input type="checkbox"/> ほとんど満足していない	7名 (4.6%)
未回答 (空白)	1名 (0.7%)
※複数回答 (満足している・どちらとも言えない)	1名 (0.7%)
(どちらとも言えない・満足していない)	1名 (0.7%)

#### 7. 今回のFDを経験なさり、改善すべき点として、お気づきのことがあれば、ご教示ください。

資料を前もって配付してほしい / 資料等は事前に配付してほしい / また資料内容が浅い / データが古すぎものもあった（成績評価データ平成10年度） / 事前に適切なデータをとるなど数字的裏付けが必要である / 事前に資料配付と問題提起をしてほしい / 資料等の配付をFDの前にやってほしい / 配付資料の充実 / 事前に資料を配付してもらわないと問題点が把握できない / 学生の学力に関する客観データが必要 / もう少しこれまでの資料を見ておきたかった / 事前にもう少し詳しい（テーマetc）情報がほしい / 前もって予習のための資料を配付してほしい / 会に必要な資料・討論の具体的な課題を前もって教えていただくと各々、意見をもって参加できる / 事前の討論をあらかじめ知らせておくべき / 会場設定等があまりにいい加減だった / 会場がロビーのような場所でよくなかった / 会議室を個別の室にすべき / 会議スペースの環境を整えて欲しい。声が聞こえない / 4つの分科会が1つの大部屋であり、うるさく、人の話がわからなかった / 我々の分科会には机がなかった。机は必要なので会場を再考する / 大会議室での分科会は無理 / 多くの

教官が参加しやすい箱崎キャンパス内でやる方がよい / 午前の分科会の会場設定が失敗 (大会議室に4つの分科会が隣接し、声が交錯し議論にならなかった) / 場所が悪い (隣りの声が大きすぎて、自分たちのグループの話がよく聞こえない) / エアコンの効きが悪い / 部屋が騒がしかった / 大会議室を仕切って分科会をするのはまずい / 箱崎 or 六本松の講義室でできないものか / 机の配置で細長い長方形はよくない / 会場が不適切 / コピー機が必要 / 会場は、箱崎キャンパスor六本松キャンパスでよかったのではないか / 部屋を完全にわけて下さい。座席も横長で声が届かない / 分科会の会場は落つかなかった / 他のグループの音がじゃまにならない様な部屋の配置に御配慮いただきたい / 部屋割りに工夫が必要です / 顔がみえるようなキョリで話した方がよい / 一日を使うのではなく、午後だけにするなど時間の短縮を考慮して頂きたい / 半日くらいにしてほしい / 一泊研修にした方がよい / 時間配分がうまくいっていない。午前のはほぼ自己紹介でおわっていた / 分科会の時間を増加して内容を充実すべき / 全体会をもっと縮小すべき / 分科会後の全体会の報告時間が長すぎるのではないか / 「1分科会5分」が守られていないようであった / 分科会の議論の時間をもっと長くしてほしい / 時間が短い / 1 / 2日ないし数時間で十分である一長時間すぎた / 「動員」はやめて欲しい。一日中は長すぎる / まる一日というのは長すぎます。最後の全体討論は、皆さんくたびれはてていました / 全体討議が長すぎる / もう少し時間を有効に利用できるように工夫して下さい / 分科会の時間が、参加者数に比べると短すぎる。また場所の都合で、発言が聞き取りにくい / FDセミナーが長時間で疲れた / 1グループの人数、場所 (大会議室に4グループは無理) / 人数が少ないほうがよい / 学生 (参考人として) 出席 / 学生の参加の機会を与える / 学生の視点が必要と思います。次回は、学生代表を参加させることを考えるべきです / 教育審議会のメンバー全員が参加すべき / 学長が常に顔を見せることが必要である / 学長さんは不要。閉会式も不要 / ○○副学長はなぜ来たのか分からない / 効率的な議論をより少人数で行う / 動員をかけるのはおかしい / 今回参加しなかった教官用にFDを開く / なるべく多くの人に参加できるようにする / 従って開催回数を増やす / 人数が多い / 人選に問題がある。科目にあまり関係なく、医病だからという教官も多い / もっと少人数で討論すべきだ (全体で50-60人で充分) / 22-24名でのグループ討論は困難であり、さらに小グループにわけて、7-8名のサブグループとすべき→座長がノウハウを考えていないとうまくいかない / 少人数でキチンと議論する / 人数が多過ぎるのではないか。分科会の人数は今回の半分ぐらいが適正と思われる / より多くの教官の参加が望まれる / 希望の分科会に参加できなかったことが残念です / 各学部に適確な研修者を選出する様指導する / 参加者が必ずしも最もふさわしい人ではなかった / 参加分科会がおしつけだったのは問題がある / 生物の分科会に基礎科学科目Iを担当している方がほとんど出席していません / 教務委員に出席が強制され、メンバーが偏っていないか? 固定されて (工学部のカリキュラムの問題なのでしょうが) 工学部から生物分野に1人指定されてるが大丈夫か? 地球環境から0人なのは心配。FDの結果が出席しなかった者にFeed back されているのでしょうか? / 参加していない他の教官への情報伝達 (すでにしているのでしょうか?) / 全体の議論の焦点が明解でなく、議論のポイントがよくわからない / 参加教官は全て基礎科学科目のエキスパートではないので、まず、問題の全体像をクリアにした上で今回のFDで行いたいことを明らかにしてもらおうと効果があるかと思えます / 講義の「シラバス」に相当する会合全体の方向付けをもう少し明確にして下さい / 上記とも関連しますが、具体的テーマを設定してはいかがでしょうか / 従来、何が問題になっていたのかイントロで明確に伝えて欲しい / 教官の評価がほとんど研究に対して行われ、教育に関する評価のウエイトが低いことが一番の問題ではないか。また、このような場で討議しても大学は各先生のポリシーが尊重されるため、なかなか全体としてある方向にうごいていかないのが残念 / このようなFDを継続し、改善につとめる必要があると思う / FDの目標、目的が明確でないように思える / 抽象論に止まらず、具体的な方策に発展させる工夫。あるいはその事例の紹介など / 導入が長すぎ、議論の流れを固定してしまった / 全体討論は間のびしていた。

分科会のまとめ役の方の報告があれば十分。あとでまとめをくればよい / 分科会で何をどう討論すべきがよくわからなかった。準備不足ではないかという感じがした / アイデアは十分に出たと思います。改善すべき点をぜひ実行していただきたい / 次回のFDの際に実行度（どれを実行し、どれがまだ実行できなかったか）を説明していただきたい / 意見交換のみであり、なにも制度に反映されないのは意味がない / 総長を中心にした強い牽引力がなければ改善は不可能であろう / 理想論でなく現実的な対応ができる雰囲気が九大全体でもりあげるべき / いろいろな意見が出たが、大学にこれを本当にとりあげる気があるのか、変える気があるのか疑問だ / FDの結果、成果がどのように具現化されるか示す / テーマが多岐に渡っているために、一般論以上の議論が出来ない / 具体的な講義／システム改善目標をまず設定する必要 / 何を話し合うのかがよくわからなかった / 全学で集まるのは範囲が広すぎて散漫な印象はぬぐえなかった / 何も決めない討論はあまり意味がない / 何かを「決議」するよう、準備すべきであった / 今後何か「変わる」という気になれなかった / まずは第1回目として価値があったと思う。今後は教官へフィードバックし、その成果を報告することで、さらなる改善を進める必要がある / 科目毎には活発な意見が聞けて有効でした / 部会の枠を越えた議論ができる場を作ることが望ましい / 問題提起としてよい機会でした。次のステップの議論もあってよかった / 次回は自分の講義の改善がテーマのFDに出たい / 書面会でもFDは可能 / 教育技術までふみこんだ議論をする場もほしい / 分科会では色々な意見を聞いて有意義だったと思 / 全学教育に限定しないで全学と学部と合せた数学教育のFDを考えてほしい / 科目ごとの分科会でなく、例えば「共通の評価方法」の検討などテーマ別に行うのが有効 / 焦点（テーマ）、タタキ台を準備してほしい / テーマを絞って議論する方が良い / 授業内容の改善について、もう少し具体的な形での議論の場が欲しかった / もう少し具体的な問題設定があっても良いかもしれない / もうすこし、学部での議論を受けて、全学FDを行うべきと思う / 担当する部局の意見を集約して参加する方が良い / 学生の実態（問題解答能力）を毎年、チェックして、把握する / 高校教育の変化を教官側が理解していないのではないかと。よって〈学生の実態（問題解答能力）を毎年、チェックして、把握する〉の実施が不可欠であろう / 全学教育基礎科学科目の授業改善がテーマであったが、私自身は、何がどう問題なのか、事前には知らなかった。今回のFDで、その問題が部分的にわかり、よかった。また、授業の行い方、ウェブシステムの使い方の具体例を紹介してもらい、参考になった / 昼食の準備など便利であった / 良い講義の見本の提示が必要と思う / 講義の進め方、教え方に色々と工夫されている先生が多いことを感じた / 講義科目が同じでも先生によってカバーしている内容が異なるのは問題である / 高校のカリキュラムの検討 / 討論 / 大げさで費用がかかりすぎているように思う / 教える側と、受講する側のgapをどう考慮するか / 4年一貫として全学教育を考えるべき。（大学院進学までの勉学などを考慮し）・問題が各部によって異なっていた / 学生は、青春の重要な時期を学生として過ごす。彼等の人生にとって、どの様な大学の環境を提供すべきか、その中で授業、教育はどうあるべきかの視点も必要だろう / 授業の内容、手法を再検討してみたい / 教授の講義（特に全学教育）に対するcontributionを、より高めるべき。「若い人に・・・」で何でも下におしつける風潮は早急に取り除くべきである。（一部の先生は実践なさっているが・・・）←（改善案）全学教育は全て教授が担当するシステムにする / 教官サイドだけでなく、学生サイドの意識改革をうながすためのシステムの確立⇒「学生向FDの開催」「退学勧告制度」の積極的導入 / グループの人数について。20名程度だと十分意見が言えない / グループの編成について。数学と物理は密接に関わっているので合同で行えば？ / 上記「グループの人数について」と「グループの編成について」より、午前中に5～10人程度の少人数グループ（数学A-1, A-2, A-3・・・）、午後中に40名程度で2グループ共同で議論する / 教育の専門と研究の専門に重点を置く教官に分けた学内体制が今後必要である。もしくは（教養教育）と（専門教育）に重点を置く教官に分けた学内体制が今後必要である / 学生の授業評価のアンケートの取り方（時機、回数） / 学生の生活状況の把握（アルバイト量） / 学問の

ための学問。学生の集団により異なる？ / 教育センターの役割は？ / 事前の説明不足を補う / 授業担当時数へのインセンティブ（とくに給料，ポスドクのポスト） / キャンパスの一元化 / 数学以外の科目に必要な数学的訓練は，先行して行うようにする / 世話をやきすぎてもいけないと思うが / 少なくとも私は二度と出席したくない / この会に賛加するのに「命令」はおかしいと思う。

「出張」もおかしい / 外部の視点を入れることも必要。先生方が自分で自分を評価するのはムリがあります / 午前の全体説明ではPCで行うなど，ビジュアル化が必要 / まず九大としてどのような学生を輩出するかの議論が必要 / 上記の方針に従い，今回の議論がなされるべきであった / 各部会の部会長，座長の教え方が聞きたかった / 枝葉の議論，技術的議論が中心に据えられていた。勿論，それらも大切であるが，FD以前の本質に関する議論がなされていないように感じた。曰く，学習意欲を欠いた者まで大学は受け入れ，サービスを供さなければならないのか。一般大学ならまだよし，此の九州大学においてを哉，社会的インフレーションに反して基幹大学では，夏のエリート教育こそ，必要なのではないのか，ならばFDで話柄とされている内容も大いに異なっているように思うが，如何 / 情報処理基礎演習も入れては？ / 各分科の意見はいずれも同じ方向であり，分科会が必要かどうか疑問である / “講習会”という意味では問題点が明確となり，講義をする側として大変勉強になった / 大体この形式で良いと思う / 授業で学生からの反応を確かめつつ行う事の大切さ / コピーダメをどう守らせるか？ / 基礎科目改善の具体的システムの確立 / 学生の理解度をはっきり認識する必要があると思った / 各自が同じ土俵に上ったの議論になるまでに，一定の時間を必要とする，と感じました / 事前の情報収集不足（各研究院からの情報）に対処する / 物理だけでも，力学，波動，電磁気学など多岐にわたり，集中した議論にならなかった / 入学式他でアルバイトをせず勉強に専念するよう指導 / 事前の説明不足を補う / 事前の情報収集不足（各研究院からの情報）に対処する。

## その他

FDー？ 日本語にして下さい / アンケートの回答を書く時間を設けてほしい。不十分である / 自分自身にとっては基礎科学科目の教育の現状を知る大変良い機会となった